3/22 次世代政策研究グループ報告会

市の将来を見据えた地域活性化策について、市の若手職員が自ら調査・研究する「次世代政策研究事業」の研究成果報告会を市コミセンで行いました。

この事業は、次世代の行政を担う政策形成能力を有する人材の育成を目的としており、今年度は、昨年からの継続課題となる「花のまちおおむらづくり」をテーマに実現の可能性を含めて調査・研究をすすめてきました。

研究グループに所属する職員は、その研究成果を松本市長をはじめ、専門委員やまちづくりアドバイザーなどに報告しました。

3/23 おおむら歴史講座を福岡市で開催

長崎街道ネットワークの会初代会長の黒岩竹二氏を講師に招き、おおむら歴史講座「長崎街道～シュガーロード～から広がる歴史と食文化」を福岡市で開催しました。

江戸時代、長崎から小倉を結んだ唯一の道「長崎街道」の歴史や街道周辺の食の話に、参加した39人の受講者は熱心に耳を傾けていました。

講座終了後には、街道と関わりのある「大村寿司」や「へこはずし」などの特産品の試食会や観光パンフレットの配布などを行い、大村の魅力をPRしました。

3/23 子育てタクシー出発式

子育て支援の講習を受けたタクシードライバーが乳幼児を持つ親子の外出サポートや子どもだけの送迎を行う「子育てタクシー」の運行を、全国子育てタクシー協会に加盟する合同タクシーが開始し、出発式が行われました。

出発式には、松本市長をはじめ、同協会会長内田輝美氏などが参加。公立保育所の園児たちを乗せた子育てタクシーが出発し、事業の開始を祝いました。

今後、新たな子育てサービスとして普及を図り、地域の子育て家庭をサポートしていきます。

3/29 県建設業協会と災害時の協定を締結

市と長崎県建設業協会大村支部（支部長・髙瀬嘉博氏）の間で、「災害時における支援活動に関する協定書」の締結式を行いました。

この協定は、大村市地域防災計画に基づく広域応援活動のなかで、万一大規模災害が発生したとき、緊急に市から県建設業協会に対し、被災情報の提供や資機材・技術者などの支援活動を要請し、正常な市民生活への早期復旧を図るため、事前の取り決めを定めたものです。

今後も、災害に強いまちづくりに向けて協力体制を整えていきます。

3/31 セーフティモデルタウンに指定

町内の皆さんの安全安心に対する意識を高めるため、鈴田地区町内会が大村警察署でセーフティモデルタウンの指定を受けました。

これは、大村警察署管内の高齢者の交通事故や振り込め詐欺などの被害の防止、飲酒運転の根絶など、町内会が主体となり「自分たちの安全安心は自分たちの手で守る」ため、警察などの助言を受けながら、今後1年間、地域に密着した活動を行います。

松並1丁目町内会、竹松地区町内会に次いで3か所目の指定となります。